



くろ きょうだい
黒い兄弟 上・下

テツナー作 さかよりしんいち 酒寄進一 訳 あすなる書房 しょぼう

十三歳のジョルジョは、貧しさから奴隷商人「ほお傷の男」に売られ、ミラノで煙突掃除夫になります。そこで待っていたのは、食事もろくにももらえず、素手で煙突の煤をかき落とす毎日。やがてジョルジョは親友アルフレドがつくった秘密結社「黒い兄弟」の一員になります。町不良連中「狼団」との対決、アルフレドの秘密、そして故郷スイスへの危険な逃亡。

たくましく生きた少年たちを描くスイスの古典的作品。訳をリフレッシュさせ、新装版となりました。

